

バドミントン部顧問各位

旭川地区バドミントン協会高校部

平成30年度 旭川地区バドミントン協会高校部確認事項

以下の点についてご確認ください。なお今年度の注意点および変更点は**太字ゴシックで波線**がひかれています。

1. 年間大会予定（別紙）

2. 協会登録のお願い（別紙参照）

登録は、**名簿をメールで送付するか**、フラッシュメモリを高体連支部大会顧問会議時に提出してください。登録料は、顧問会議時に受け付けます。

3. 大会要項（別紙）

※今年度は新スコアリングシステム（11点5ゲーム制）の実施はありませんが、連盟主催の大会はその限りではないとのことです。場合によっては高体連（高等学校体育連盟）主催の大会については新スコアリングシステムの先行導入を行うかもしれません。その場合、旭川地区協会（高校部）ならびに高体連専門部（旭川支部）と協議の上、実施方法について明示いたしますのでよろしくお願いいたします。

※学年別シングル大会兼FD杯の実施種目について、今年度より従前の学年ごとのチャンピオンを決める大会の趣旨に立ち戻り、部を撤廃し実施します。なお、あわせて運営面において10種目を1日日程で詰め込むことの煩雑さなどご理解いただきたいと思えます。

4. 参加申込書（別紙）

昨年度に引き続き、**参加申込書および参加申込一覧表を各大会の申込締切までに高校部・高井(旭川北高校) ttakai@hokkaido-c.ed.jp**へメールに添付し送付して下さい。データ上での処理をしていきますので、必ずメールとし、**FAXならびに郵送をしない**ようにして下さい。

旭川地区バドミントン協会高校部のサイトにも大会要項および参加申込書などを掲載します。

5. 会長杯(9月)および新人バドミントン選手権大会(12月)の団体戦について

会長杯(9月)および新人バドミントン選手権大会(12月)の団体戦に関する申し合わせ事項は以下のとおりです。

- (1) 当番校制ではなく、高校部の指示のもと、参加校顧問で協力して運営する。
- (2) 各チーム少なくとも2試合ができるように、できるだけ交流戦（敗者戦）を設定する。
- (3) 原則としてトーナメント戦とするが、参加数や日程により高校部が競技方法の変更を検討し、参加校了承のうえ変更することができる。
- (4) 会場として学校の体育館を利用する場合、会場校に過剰な負担をかけないように配慮する。
- (5) 平成30年度の開催要領
 - ①会長杯（個人）の**シードポイント上位6校**を会長杯（団体）でシードする。
 - ②会長杯（団体）の**上位6校**を新人バドミントン選手権大会（団体）でシードする。
 - ③今年度は北海道大会が旭川開催ではないので、出場校枠は4。（**北見市開催**）

6. II部種目の出場制限について

(1) 規程

年度当初に配布する大会要項にて以下のように明記されています。（ただし⑤の数字は必ずしも同じではありません。）

参加資格

⑤ II部種目への上場を制限される者は以下のとおり

ア. 中体連上川管内大会（代表決定戦）の個人戦に出場した者

イ. 上川以外の管内大会の個人戦に出場した者。ただし、留萌など地区大会を実施せずに管内大会を行っている場合はこの限りではない。

ウ. 中学新人北海道大会および全日本ジュニア北海道予選会に出場した者

エ. 過去の大会において同一種目で決勝進出した者（学年別シングル大会は同一種目ではないので対象とはならない）

(2) これまでの状況

以前は、高校部から顧問、顧問から選手への大会参加資格の共通理解が不十分だったため、出場資格

が選手に認知されていないような状況がありました。平成 18 年度以降は、ルールを守るという競技スポーツにおける基本的な態度を育成するという観点から、大会開会式での選手への指導のほか、各顧問に指導の徹底をお願いしたところ、一定の成果があがっています。

(3) その他 (確認)

- ・ II 部ダブルスで決勝進出したものは、ペアを変えても II 部ダブルスには出場できない。
- ・ II 部のいずれかの種目で決勝進出した場合、次回以降、同一種目については I 部に出場しなければならない。(ダブルスのみ決勝進出した場合はシングルスについては II 部に出場することができる。また、その逆も同様である。)
- ・ II 部に出場できる選手が I 部の選手とペアを組む場合は I 部複に出場しなければならない。ただしパートナーが I 部選手であるために I 部複に出場した場合は、単については II 部 (または III 部) に出場することができる。
- ・ II 部に出場できる選手が、I 部への出場を制限されることはない。

7. III 部シングルスについて

(1) 規定

III 部は高校入学後、競技を始めた者。(小・中学生の時に大会に出場するなどの競技経験のない者。)ただし、過去の大会において III 部決勝に進出した者は出場できない。

(2) その他 (確認)

- ・ III 部はシングルスのみを設定する。
- ・ III 部で決勝進出したものは、次回以降、III 部には出場できない。
- ・ III 部に出場できる選手が、I 部および II 部への出場を制限されることはない。
- ・ III 部の参加料については II 部と同じとする。
- ・ III 部シングルスは北海道選手権予選 (7 月) 会長杯 (9 月) 新人バドミントン選手権大会 (12 月) に設定する。
- ・ 今年度より学年別大会においては III 部は設定しない。

8. 当番校について

(1) 当番校の決定

年度当初に協会高校部より、原則として市内校に依頼する。(良く確認の上、組合せ会議・顧問会議にできるだけ参加されるようお願いいたします)

(2) 当番校業務内容

- ①大会前の準備 (組合せ会議の際に高校部長の指示のもと行う)
 - ・ シャトル (試合数×2 個+予備、I 部と II・III 部のシャトルの種類は別)
 - ・ ラインテープ、審判用紙、コート番号、事務用品、賞状用紙 (I～III 部) およびメダル (II～III 部)
 - ・ パソコンおよびプリンター (賞状印刷や報告業務などに利用)
 - ・ 得点板およびネット (会場によっては準備の必要あり)
 - ②大会運営 (会場にて高校部長の指示のもと適宜行う)
 - ・ 公式練習
 - ・ 進行
 - ・ コート整備
 - ③大会後の処理 (高校部長の指示のもと行う)
 - ・ 協会事務所への備品の返却
 - ・ 大会記録作成 2 部 (準決勝以上のスコアを記入)
- (3) 当番校業務以外のもの (参加校選手及び顧問が協力する業務)
- ①組合せ業務 (大会の前週の火曜日)
 - ②会場・コート設営および復元【参加選手】

9. その他

- (1) II・III 部は 1 ゲーム 15 点先取、延長ゲームは 21 点までとします。
- (2) 新ルールについては、3 を参照下さい。
- (3) 昨年度、全国高体連にて背面ゼッケンに関して次のように変更がありました。引き続き、選手への指導をよろしくお願いいたします。
 - (変更前) 選手は競技服背面に学校名及び氏名を表記したゼッケンを着用すること。
 - (変更後) 選手は競技服背面に学校名のみを表記すること。従って、従来の背面ゼッケンは基本必要なくなり、競技服背面に学校名が表記されていれば可となります。しかし、競技服に学校名が表記されていなければ、別布等にて (従前の背面ゼッケンの名前部分を折隠す等) 貼り付け表記することになります。なお、地区大会に限り毎年年度末年度初めに行われる「ヨネックス高校生スプリングキャンプの T シャツ」「高体連 70 周年記念 T シャツ (H29 販売)」については競技服として認めます。

(4) 旭川地区バドミントン協会高校部Webページ

『旭川高校生バドミントン情報』 <http://www.a-badmin.server-shared.com/koukoubu/index.htm>
大会予定、大会要項、参加申込書、登録用ファイルはこちらからもダウンロードできます。